

## ニュース学童保育

=私たちの活動 4つの柱=  
\*制度化と指導員の身分保障  
\*専門性と仕事の確立  
\*父母と共に学童保育運動の発展  
\*全国の指導員との団結と連帯

# 高学年の受入れ開始 町田市

今年度より、町田市の学童保育クラブ（以下・学童クラブ）では小学4年生以上の受け入れが始まりました。1960年代に町田市内で学童保育

うこととなり、2019年に町田市議会や施設長会議、町田市と父母連協との意見交換会などで発表されました。

### 受け入れに向けた準備

受け入れに伴いどのような準備が必要か、高学年が楽しめる本や遊具について検討がされ、20年度末には高学年向けの図書購入や遊具、備品の購入を行いました。

### 大規模化の解決、施設の改善必要

21年4月1日から高学年の受け入れが始まりました。高学年の子どもたちは、3年生の時と変わらず下級生のお世話をしたり、気の合う仲間同士で今までと変わらず遊んでいたりにしています。時に、下級生ともけんかをすることもありませぬ。

では支援の単位毎に子ども人数が分かれていますが、全ての学童クラブで単位ごとに施設が分かれて保育を行っているわけではありませぬ。

また、2019年度の段階で在籍児童が百名を超える学童クラブが43クラブ中14クラブあり、高学年の受け入れが始まりさらに百名越えの学童クラブが増えていることが考えられているため、狭あい化の問題についても引き続き検討をする必要があります。さらに、高学年の受け入れが開始されていても、トイレが男女別になっていない学童クラブがあるなど、分会内でも高学年保育の様子を情報共有しながら、課題点などを明確にし、自治体キャラバンなどを通して現状を訴えることができたかと考えています。

事業が開始された当初は、高学年を受け入れている学童クラブもありました。しかし、97年の児童福祉法の一部改正に伴い、対象年齢がおおむね10才とされたことをきっかけに、町田市内の学童クラブでは小学3年生まで（特別支援学校や特別支援級に通う児童は6年生まで）受け入れていました。

2020年には高学年の受け入れ開始に向けて、町田市主催の資質向上研修にて、高学年保育に関する研修が3回開かれまされた。大学教授による高学年の発達についての講義や、他地域で高学年を受け入れている学童クラブや児童館の職員による実際の保育の様子を紹介などが行われました。

さらに、行事の見直しを行いました。今まで3年生の3月に卒会式を行い、保護者と共に学童クラブでの成長を祝う機会としていました。しかし、高学年の受け入れの仕組みが4年生以上は各学童クラブの定員に空きがあれば受け入れという形だったため、4年生になっても継続して学童クラブに通う子どもと4年生になつたら学童クラブに通わない子どもが混在する形になりました。21年度からは卒会式は進級式として、1年ごとに子どもたちの成長が実感できるような行事と位置付けをした

町田市の学童保育クラブは、『町田市放課後児童健全育成事業の設置及び運営の基準に関する条例』（以下・条例）では、「一の支援の単位を構成する利用者の数は、おおむね40人以下とする。」とされています。書類上

（町田学童保育分会 分会長 赤澤 かおり）

新・町田市子どもマスタープラン（2015年度～2024年度）において、全学年の小学生児童が放課後や夏休みなどの期間を、安全・安心に過ごせるよう、今年度から高学年の受け入れを行

また、私達の働いているNPO法人（以下・法人）内でも高学年保育についての研修が2回開かれました。研修を通して高学年の発達を学ぶだけでなく、法人内でプロジェクトチームを立ち上げ、

受け入れに伴いどのような準備が必要か、高学年が楽しめる本や遊具について検討がされ、20年度末には高学年向けの図書購入や遊具、備品の購入を行いました。

さらに、行事の見直しを行いました。今まで3年生の3月に卒会式を行い、保護者と共に学童クラブでの成長を祝う機会としていました。しかし、高学年の受け入れの仕組みが4年生以上は各学童クラブの定員に空きがあれば受け入れという形だったため、4年生になっても継続して学童クラブに通う子どもと4年生になつたら学童クラブに通わない子どもが混在する形になりました。21年度からは卒会式は進級式として、1年ごとに子どもたちの成長が実感できるような行事と位置付けをした

町田学童保育分会 分会長 赤澤 かおり